

変更理由書

(発注担当課：下水道施設課)

- 1 工 事 名 : 4-4 公共巷丁目(補) 污水管渠築造工事
- 2 工事場所 : 上尾市巷丁目西地内
- 3 工 種 : 土木一式工事  
(建設業法上の29分類)

4 変更契約内容

	変 更 前	変 更 後
工 期	令和 4 年 1 1 月 2 2 日から 令和 5 年 3 月 1 7 日まで	令和 4 年 1 1 月 2 2 日から 令和 5 年 3 月 3 0 日まで
契 約 金 額 ( 税 込 )	2 5 , 5 6 1 , 8 0 0 円	2 5 , 1 8 0 , 1 0 0 円
工 事 概 要	工事延長 L=271.4m 污水管布設工(リブ付硬質塩化ビニル管φ200mm) 263.4m 組立1号マンホール設置工 5箇所 組立楕円マンホール設置工 2箇所 組立塩ビマンホール設置工 3箇所 取付管数 18箇所 試掘工 8箇所 水替工 1式	工事延長 L=268.8m 污水管布設工(リブ付硬質塩化ビニル管φ200mm) 261.3m 組立1号マンホール設置工 6箇所 組立楕円マンホール設置工 0箇所 組立塩ビマンホール設置工 4箇所 取付管数 17箇所 試掘工 9箇所 水替工 廃止

5 変更理由

<p>本工事において、下記事由により数量の増減が生じるため、変更する。</p> <p>○管路延長、管底高およびマンホール種類の変更</p> <p>契約締結後に実施した試掘結果より、計画污水管と既設管(電線共同溝、水道管)との離隔不足が判明した。このことから、既設管との離隔を確保するため、No.19-3-1 マンホールは設置位置を、No.19-3-2 マンホールは組立楕円マンホールから組立塩ビマンホールへ変更する。また、No.17-1 マンホールは既設水道管との離隔が確保できるため、組立楕円マンホールから組立1号マンホールへ変更する。</p> <p>污水管布設工(リブ付硬質塩化ビニル管φ200mm)：-2.1m 組立1号マンホール：+1箇所 組立楕円マンホール：-2箇所 組立塩ビマンホール：+1箇所</p> <p>○取付管数の変更</p> <p>契約締結後に路線19-3沿線の地権者より、別路線(市道)から取付管を接続したいとの要望が出されたこと、路線16沿線で住宅が建築されたことおよび、路線17沿線で家の売買を検討している地権者が接続を見送ったことから、接続数の増減が発生したため、取付管数を変更する。</p> <p>取付管工：-1箇所</p> <p>○水替工の廃止</p> <p>工事中、湧水の発生が確認できなかったため、水替工を廃止する。</p> <p>○工期の延長</p> <p>路線17の幅員4mの市道内において、既設管が錯綜していたこと、路線16、路線19-3、路線21の国道歩道内において、既設水道管と既設縁石が近接する箇所があったことから、機械掘削の際に人力にて先行確認の必要があった。</p> <p>以上の理由で工事進捗に遅れが生じ、当初契約工期までの完工が難しいことから、工期を延伸する。</p> <p>当初：令和4年11月22日～令和5年3月17日 変更：～令和5年3月30日</p> <p>以上の結果、減額および工期変更する。</p>
--